

世代間交流 シンポジウム

参加者 募集

仙台から発信！
世代を超えたコミュニケーション

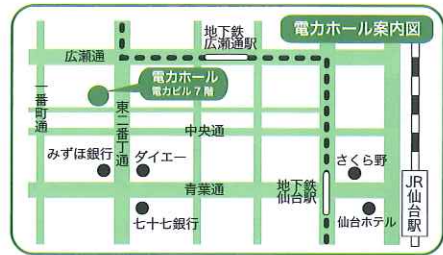
2010年1月15日(金)
13:00開演(12:30開場・16:00終了予定)

会場：電力ホール (仙台市青葉区一番町 3-7-1)



入場無料 ※整理券要

下記要領でお申し込みください。お申し込み多数の場合先着順となります。
※託児あり 託児ご希望の方は、申し込み時に託児希望の旨お知らせください。



核家族化・少子高齢化が急速に進む日本。世界的な金融不安に端を発した不況や格差社会の広がりの中、心の通い合うコミュニティがどんどん失われつつあります。

各世代相互のコミュニケーションや助け合いは、人々の心に希望の光を灯し、地域の活力を生み出します。未来への希望を次代につなぐためには、子どもたちが経験豊富な世代と交流し、生きる力を身につけることが大切です。

子どもたちが経験豊かな世代から生きるための知恵を学び、現役世代や高齢者が健康で生きがいのある生活を送ることができる地域社会を築くにはどうしたらいいのでしょうか。未来への希望を世代を超えて共有し、明るく活力に満ちた地域社会をつくるにはどうしたらいいのでしょうか。

現役世代及び高齢者と子ども達の交流の素晴らしさについて、日頃の活動の中で体験されておられる方々にお集まりいただき、その実例をお示しいただきながら、世代間のよりよい交流のあり方について考えます。さとう宗幸さんによるお話と歌もお楽しみください。

あなたもこのシンポジウムに参加して、世代間交流についてもう一度考えてみませんか？



プログラム

- 12:30 開場
- 13:00 開演 主催者あいさつ
来賓あいさつ
- 13:10 基調講演 「世代間交流が育む心の絆
～ふれあいの時を求めて」
講師：さとう宗幸氏 (歌手・タレント)
- 14:15 休憩
- 14:30 パネルディスカッション
「仙台から発信！世代を超えたコミュニケーション」
パネリスト：山口哲男氏 (仙台自分づくり教育応援団長)
関口怜子氏 (ハート&アート空間「Be!」主宰)
小岩孝子氏 (東四郎丸児童館館長)
コーディネーター：盛 朋子 (ミヤギテレビ・アナウンサー)



お申し込み方法

- 「住所・氏名・職業・年齢・電話番号・希望人数・託児希望の有無(お子様の年齢)」を明記し、ハガキ、FAX、またはEメールでお申し込みください。入場整理券を郵送します。
- ハガキ宛先
〒980-0804 仙台市青葉区大町 1-1-6-7F
世代間交流シンポジウム事務局 係
 - FAX 送付先 FAX 022-266-1565
 - Eメール yomix@yomiuri-media.co.jp
 - お申し込み締切 1月4日(月)必着
 - お問い合わせ TEL 022-266-1562
世代間交流シンポジウム事務局
(読売メディア・ミヤギ内)

世代間交流 シンポジウム

出演者



基調講演



さとう宗幸氏 (歌手・タレント)

1977年、NHK仙台「FMリクエストアワー」でDJを担当。同番組に寄せられた詞に曲をつけ「青葉城恋唄」を創作。翌78年、同曲で爆発的ヒットを生み、売上げも100万枚を突破。その年のレコード大賞新人賞、日本作詞大賞、FNS音楽祭最優秀新人賞など賞を総なめにしたことは、あまりにも有名。81年には、TBSドラマ「2年B組仙八先生」、87年、NHK大河ドラマ「独眼竜政宗」などに出演。役者としてもその才能を発揮した。一方、88年には日中友好を記念して2週間にわたる中国公演を行い、延べ2万人以上の観客を動員、大成功を収めるなど、国際的な音楽活動も行っている。92年には、「友好県省締結5周年記念・吉林省文化交流事業」の一環として「さとう宗幸吉林省公演」を開催。91年、ミュージカル「O₂〈オートウー〉〜わたしたちは木を呼吸しています物語」を総合プロデュース・主演し、その多彩な才能を発揮。95年からは「OH!バンドス」、「午後は〇〇おもしろきテレビ」など多くのテレビ番組に出演し、お茶の間の顔として多くのファンを獲得。

パネリスト



山口哲男氏 (仙台自分づくり教育応援団長)

財団法人仙台ひと・まち交流財団理事、協同組合日専連仙台理事長ほか多数の役職で活躍。仙台市PTA協議会会長などを歴任、現在はまちづくり・人づくり、各種市民活動をはじめ、ボランティア活動の指導的役割を果たしている。仙台自分づくり教育研究会会長。株式会社自転車屋の山口屋 代表取締役。



関口怜子氏 (ハート&アート空間“Be I”代表)

宮城県生まれ。1987年、仙台に子どもの創造表現空間「ハート&アート空間“Be I”」を設立。“ビーアイ”は「自分であれ」の意味。ひとりひとりがみずみずしい感受性で「自分であること」の喜びをしっかりと感じ、「こころ筋肉マン」になるべく、「五感を通して自然・人・もの・言葉とどう出会っていくか」について共に考える場を多様に創り出している。三重県立美術館では三重の子どもたち展のアートディレクターを務めたほか「発見！わたしの村・わたしの町」ワークショップを行った。宮城県立美術館・子どもを考える特別活動ワークショップ、せんだいメディアテーク・捉え直される日常「かくれんぼ・かくされんぼ」ワークショップなど、ビーアイ以外の場でも数多くのワークショップを企画・実践。ワークショップは、自己表現しながら、生まれながらに持っている自分の意思や気持ちを再発見していく場。彼女のワークショップは、子どもたちだけでなく大人にも感動と気づきをもたらしている。



小岩孝子氏 (東四郎丸児童館館長・特定非営利活動法人FOR YOU にこにこの家理事長)

宮城県生まれ。平成7年、市民センター主催の「介護ボランティア入門講座」を受講し、ボランティアグループFOR YOUを結成。高齢者や障害者の方を対象としたミニデイサービスを行う。平成15年に「大人も子どももなんらかの障害を持っていてもみんなが気軽に集いあえる場所」としてにこにこの家を立ち上げ、平成16年9月NPO法人格を取得する。平成16年4月から地域福祉をつなぐネットワーク「ほっとネット in 東中田」の事務局、平成17年4月から仙台市の指定管理者となり「東四郎丸児童館」の運営を行っている。現在は、にこにこの家理事長、東四郎丸児童館館長、ほっとネット in 東中田 代表。仙台市民公益活動促進委員、仙台市社会福祉協議会企画財政委員・評議員、太白区社会福祉協議会やせんだい・みやぎNPOセンター等の評議員など。

コーディネーター



盛 朋子氏 (ミヤギテレビ アナウンサー)

青森県生まれ。主にニュース番組を担当、環境問題をライフワークとし、仕事のかたわら、東北大学大学院で学び、環境科学修士課程を修了。ミヤギテレビ「ストレイトニュース」「NEWSリアルタイム ミヤギ」エコリポートを担当中。各種シンポジウムなどでコーディネーターを多数務める。

